

親子で一緒に学ぶ「社会科-道具とくらしのうつりかわり-」(回答)

Q1の回答

									
									
<p>天秤棒・桶 ふたのおけに水などを入れて運ぶ</p>	<p>炭火アイロン あつくなった炭を入れ、熱でしわを伸ばす</p>	<p>手回し洗濯機 ふたを開け、お湯、洗剤、布を入れて手で回す</p>	<p>黒電話 ダイヤルを回して電話をかける</p>	<p>箱枕 まげを結っていた頃、首筋をのせて枕として使用</p>	<p>背負子 やまあつめたたきぎつ新を積んで背負って運ぶ</p>	<p>いずみ おひつに移したご飯が冷めないように保温する</p>	<p>山かご 身分の低い武士や町人などを運ぶ</p>	<p>蓑と笠 雨や雪の日にかっぱとして使用</p>	<p>わらぞうり くつが履かれるようになるまで使用</p>

Q2の回答



- ②「二槽式洗濯機」
向かって左の大きな槽に洗剤と洗濯物を入れ、水を入れながら自動で洗います。その後、右の小さな槽に洗濯ものを移して脱水していました。
- ①「ドラム式洗濯機」
槽の中に洗濯物を入れ、自動で洗濯、脱水、さらには乾燥まで行うことができる便利なものです。

おまけ

- ぜひ、親子で「古い道具のよさ」も話しあってみてください。「今の道具」のほとんどは電気や電池がないと動きませんね！
- 郷土資料館にある他の「古い道具」の詳しい説明は、別紙の『R1 こどもしりょうかんだより』か、郷土資料館のホームページ (<http://www.toyota-rekihaku.com>) をご覧ください。